

NTT is...

2012
winter

冬
ニ

この絵はNTTの海外拠点がある国をイメージしています。どこの国かは14ページをご覧ください。





代表取締役社長
うの ひろ お
鵜浦 博夫

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「NTTis…2012冬号」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

まず、2013年3月期上半期の取り組みについて、ご報告申し上げます。

固定通信分野では、「フレッツ光」の利用拡大とお客サポートの充実に向け、一部のサービスの月額利用料金値下げを実施したほか、Wi-Fi*1の利用シーンの拡大を目指した取り組みを実施しました。

移動通信分野では、スマートフォンの普及拡大を目指し、「Xi(クロッシィ)」対応のスマートフォンの端末ラインナップの充実を図るとともに、「らくらくスマートフォン」の発売に合わせた新たなパケット定額サービスの提供を開始しました。

上位レイヤサービス・ソリューション*2ビジネスでは、写真や動画をネットワークを介してスマートフォンやタブレットなど様々な端末で閲覧いただける「フォトコレクション」の提供を開始するなど、クラウドサービス*3のサービスメニューの充実に努めました。

グローバル事業では、事業拡大およびクラウド*3に関連する革新的技術の獲得を目的として、米国のCenterstance, Inc.*4と、同社の全株式を買収することで合意しました。

以上の取り組みにより、2013年3月期上半期の業績は、営業収益がスマートフォンの販売拡大などにより3期連続の増収(対前年同期+828億円)を達成しましたが、営業費用の増加を補えず、営業利益が対前年同期▲225億円の減益となりました。

2013年3月期の通期業績予想については、厳しい競争環境にある移動通信分野において、従来の携帯電話からスマートフォンへの移行を促進するとともに、長期継続してご利用いただいているお客様向けの

取り組みを継続・強化することから、営業利益を本年5月に公表したもから▲800億円の減益へ修正いたしました。

こうした状況も踏まえ、今後の業績の回復や成長への道筋の確立に向けた取り組みを、本年11月8日に公表しました。*5

NTTグループでは、「グローバル・クラウドサービス」を今後の事業の基軸とし、グループ全体の成長と変革を実現してまいります。また、既存の「ネットワークサービス」の競争力を、効率化により徹底的に強化してまいります。

具体的な目標として、2017年3月期までに、海外売上高を200億USドルまで倍増させるとともに、法人売上高の海外比率を50%以上に引き上げてまいります。また、2015年3月期までに、固定/移動通信サービスに関連するコストを対2012年3月期比で▲4,000億円以上削減してまいります。設備投資の対売上高比率も、2016年3月期までに15%まで低減してまいります。こうした取り組みにより、2016年3月期までに、1株当たり当期純利益(EPS)を対2012年3月期比で+60%以上成長させるよう努めてまいります。

大きく変化する情報通信市場において、NTTグループは、成長を図り自らも変革することにより、お客様に選ばれ続ける“バリューパートナー”を目指してまいります。

最後になりましたが、株主還元については、今後も充実・強化に取り組んでまいります。配当につきましては、本年5月に公表したとおり2013年3月期の1株当たりの年間配当額を140円から160円へ20円増配することとし、中間配当額を1株当たり80円といたしました。今後も安定性・継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況および配当性向などを総合的に勘案し、決定してまいります。

自己株式取得につきましては、本年9月の取締役会において、2013年3月末までに、4,200万株または1,500億円を上限とした自己株式取得を決定いたしました。既に、10月末時点で約1,300万株、500億円の取得を完了しております。

株主の皆様におかれましては、より一層、当社の事業運営へご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

*1 Wi-Fi…無線LAN機器間の相互接続性を認証されたことを示すブランド名。Wi-Fi Allianceの登録商標。ここでは、Wi-Fiによる無線LAN環境のことを指す。

*2 ソリューション…お客様の抱える課題を抽出し、その解決を可能とするシステムなどを提供すること。

*3 クラウド、クラウドサービス…ネットワークを介してソフトウェアやハードウェアなどを提供するサービス形態。

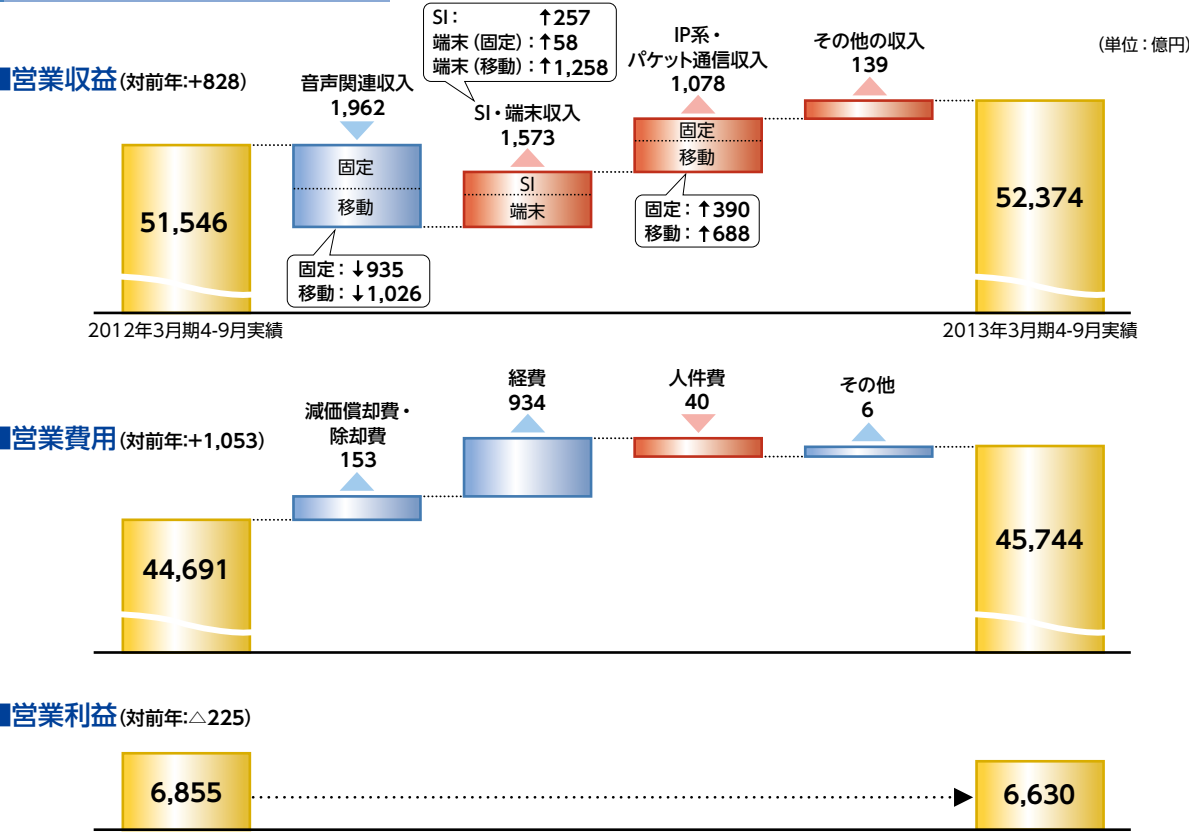
*4 Centerstance, Inc.の詳細は13ページ参照。

*5 取り組みの詳細は8～12ページ参照。

第2四半期(累計)の決算概要

- ▶▶ 営業収益は前年同期と比べ828億円 (1.6%) 増加の5兆2,374億円
 - ・海外売上増加や、スマートフォン販売数の拡大により、システムインテグレーション (SI) ・端末収入およびIP系・パケット通信収入が増加
 - ・3期連続の増収
- ▶▶ 営業費用は前年同期と比べ1,053億円 (2.4%) 増加の4兆5,744億円
- ▶▶ 営業利益は前年同期と比べ225億円 (3.3%) 減少の6,630億円
 - ・スマートフォン販売に伴う収益連動経費の増加により減益

前年同期比増減の内訳 (科目別)



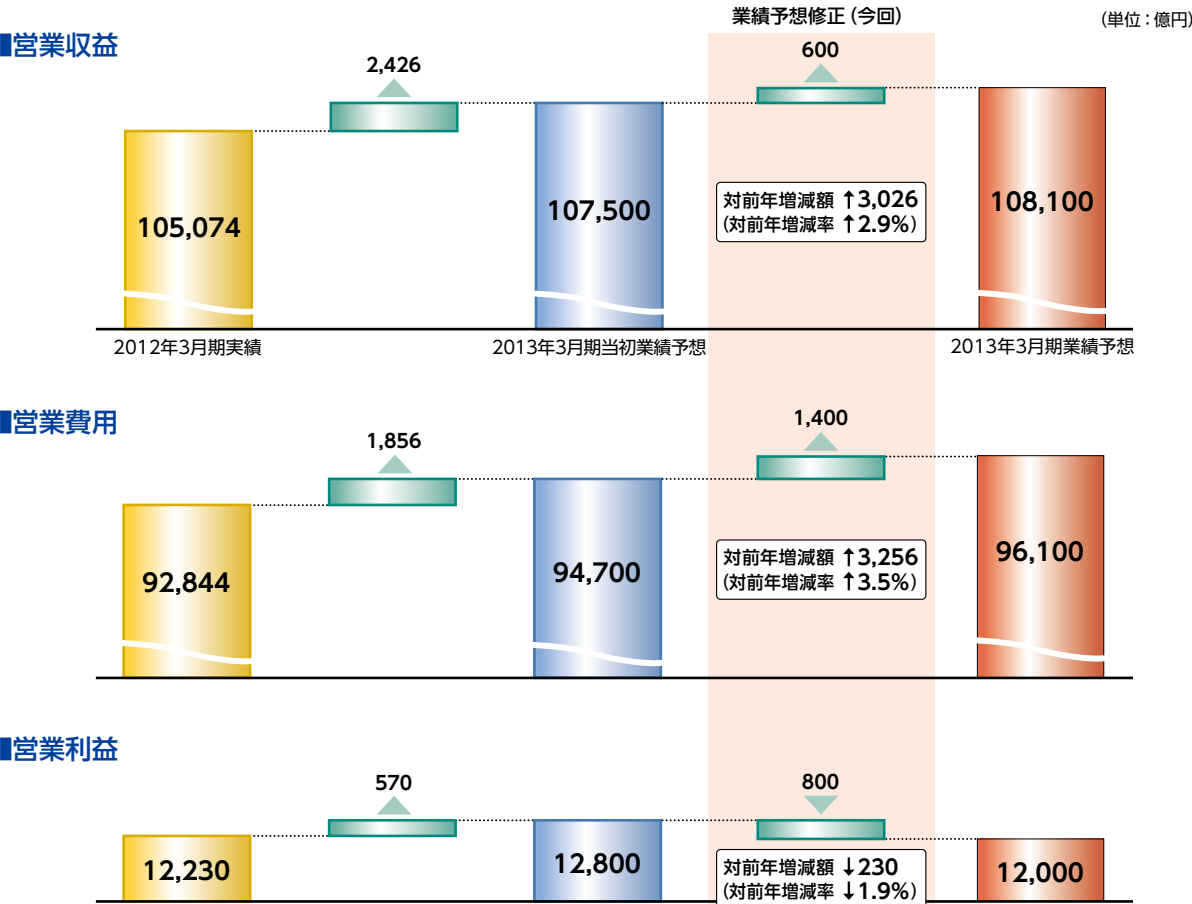
連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社816社、持分法適用会社104社の連結決算を表しています。
ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。
(単位: 億円)

区 分	NTT連結 *1	NTT東日本 *1	NTT西日本 *1	NTT コミュニケーションズ *1	NTTデータ *1	NTTドコモ *1
営 業 収 益	52,374	9,092	8,075	4,665	6,048	22,073
(対前年同期増減額)	(828)	(△73)	(△248)	(△190)	(330)	(943)
(対前年同期増減率)	(1.6%)	(△0.8%)	(△3.0%)	(△3.9%)	(5.8%)	(4.5%)
営 業 費 用	45,744	8,721	7,975	4,044	5,746	17,362
(対前年同期増減額)	(1,053)	(△128)	(△102)	(△273)	(337)	(1,317)
(対前年同期増減率)	(2.4%)	(△1.5%)	(△1.3%)	(△6.3%)	(6.2%)	(8.2%)
営 業 利 益	6,630	370	99	620	301	4,711
(対前年同期増減額)	(△225)	(54)	(△145)	(82)	(△6)	(△374)
(対前年同期増減率)	(△3.3%)	(17.4%)	(△59.5%)	(15.4%)	(△2.0%)	(△7.4%)
税引前利益	6,428	*2 488	*2 146	*2 709	*2 268	4,656
(対前年同期増減額)	(△389)	(51)	(△164)	(65)	(△19)	(△463)
(対前年同期増減率)	(△5.7%)	(11.9%)	(△53.0%)	(10.2%)	(△6.6%)	(△9.0%)
四半期純利益	*3 2,934	315	125	444	134	*4 2,859
(対前年同期増減額)	(△30)	(48)	(△111)	(61)	(9)	(△131)
(対前年同期増減率)	(△1.0%)	(18.0%)	(△47.0%)	(16.0%)	(8.0%)	(△4.4%)

*1 当社およびNTTドコモは米国基準 (連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準 (単独)、NTTデータは国内基準 (連結) に準拠して作成しております。
*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。
*3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。
*4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

- ▶ 営業収益は当初予想から600億円増加の10兆8,100億円
・NTTドコモのスマートフォン販売拡大により上方修正
- ▶ 営業費用は当初予想から1,400億円増加の9兆6,100億円
- ▶ 営業利益は当初予想から800億円減少の1兆2,000億円
・NTTドコモにおいて、コスト削減に努めるものの、長期継続利用のお客様向け施策の継続・強化により下方修正



連結および主要な会社別業績予想

(単位: 億円)

区 分	NTT連結 *1	NTT東日本 *1	NTT西日本 *1	NTT コミュニケーションズ *1	NTTデータ *1	NTTドコモ *1
	NTT	NTT東日本	NTT西日本	NTT Communications	NTT DATA	docomo
営 業 収 益	108,100	18,580	16,450	9,550	12,800	45,200
(対前年増減額)	(3,026)	(64)	(△313)	(△260)	(288)	(2,800)
(対前年増減率)	(2.9%)	(0.3%)	(△1.9%)	(△2.7%)	(2.3%)	(6.6%)
(対当初業績予想)	(600)	(△100)	(0)	(0)	(0)	(700)
営 業 費 用	96,100	17,930	16,050	8,550	11,950	37,000
(対前年増減額)	(3,256)	(△82)	(△343)	(△202)	(242)	(3,345)
(対前年増減率)	(3.5%)	(△0.5%)	(△2.1%)	(△2.3%)	(2.1%)	(9.9%)
(対当初業績予想)	(1,400)	(△100)	(0)	(0)	(0)	(1,500)
営 業 利 益	12,000	650	400	1,000	850	8,200
(対前年増減額)	(△230)	(146)	(29)	(△57)	(45)	(△545)
(対前年増減率)	(△1.9%)	(29.2%)	(8.0%)	(△5.4%)	(5.7%)	(△6.2%)
(対当初業績予想)	(△800)	(0)	(0)	(0)	(0)	(△800)
税引前利益	11,700	*2 850	*2 500	*2 1,100	*2 780	8,140
(対前年増減額)	(△693)	(97)	(76)	(△89)	(24)	(△630)
(対前年増減率)	(△5.6%)	(13.0%)	(18.0%)	(△7.6%)	(3.2%)	(△7.2%)
(対当初業績予想)	(△950)	(0)	(0)	(0)	(0)	(△890)
当期純利益	*3 5,300	500	400	670	380	*4 5,070
(対前年増減額)	(623)	(178)	(195)	(86)	(75)	(431)
(対前年増減率)	(13.3%)	(55.5%)	(95.2%)	(14.9%)	(24.8%)	(9.3%)
(対当初業績予想)	(△450)	(△30)	(0)	(0)	(0)	(△500)

- *1 当社およびNTTドコモは米国基準 (連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準 (単独)、NTTデータは国内基準 (連結) に準拠して作成しております。
- *2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。
- *3 NTT連結の当期純利益は、当社に帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。
- *4 NTTドコモの当期純利益は、NTTドコモに帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

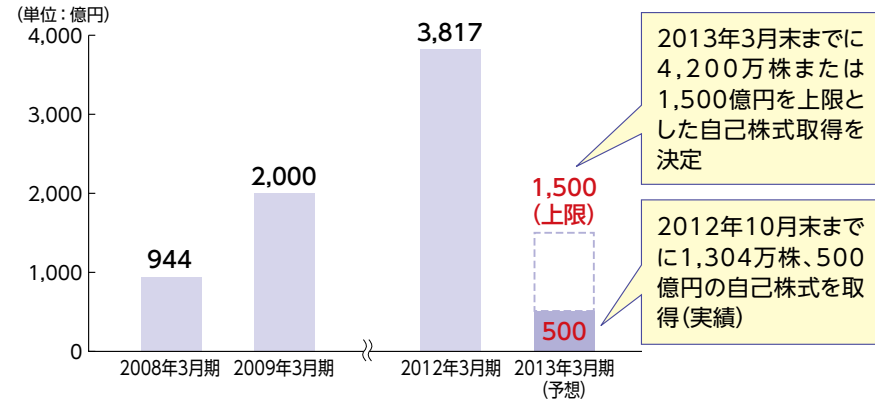
本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確定性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

●自己株式取得

NTTは2012年9月に、2013年3月末までの、4,200万株または1,500億円を上限とした自己株式取得を決定いたしました。

この決定に基づき、2012年10月末までに1,304万株、500億円の自己株式取得を行いました。

■自己株式取得



自己株式取得とは？

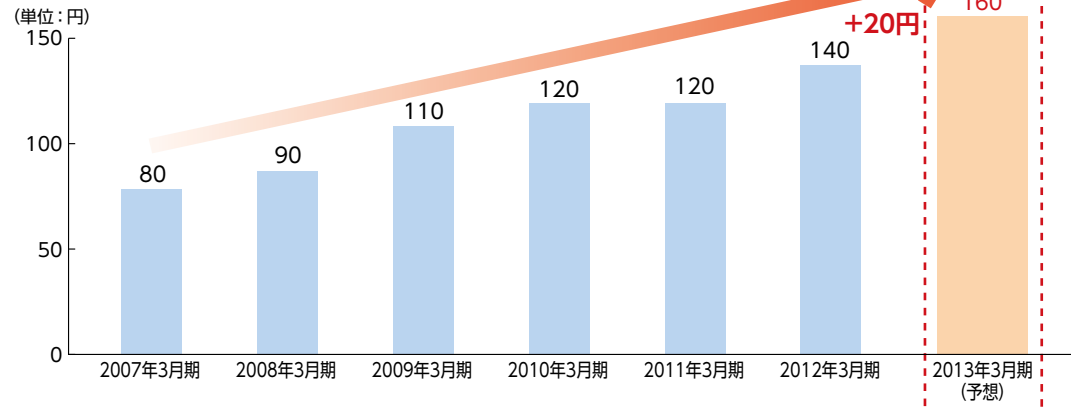
会社が、自社の株式を市場などから買い戻すことです。自己株式取得により、EPS (1株当たり当期純利益) が改善されることや、市場に流通する自社の株式数が減少し需給のバランスが調整されることなどが効果としてあげられます。

●配当金

2013年3月期の配当については、2012年5月に発表したとおり、1株当たりの年間配当金を20円増配の160円とさせていただく予定であり、中間配当金について80円と決定いたしました。

今後も株主還元の充実に取り組んでまいります。

■1株当たり配当額



NTTは、2012年11月8日の決算発表において、今後の取り組みや中期的な財務目標を示した、「新たなステージを目指して」を発表いたしました。



*1 SNS (Social Networking Service) …参加する人々が互いに自分の趣味、好み、生活情報などを公開しあうなどのコミュニケーションを目的としたWebサービス。
 *2 データセンタ …サーバなどの各種のコンピュータやデータ通信などの装置を設置・運用することに特化した建物の総称。
 *3 M2M (Machine to Machine) …機器同士が相互に自律的に情報交換するための技術または仕組み。遠隔でのデータ収集・監視・制御に活用することで、業務プロセスの効率化、サービスの高度化、新たなサービスの創出などへの活用が可能。

「個人投資家の皆様向けホームページ」のご案内

「個人投資家の皆様向けホームページ」には、株主の皆様よりご好評をいただいております、株主通信「NTTis…」のマンガのページを掲載しています。

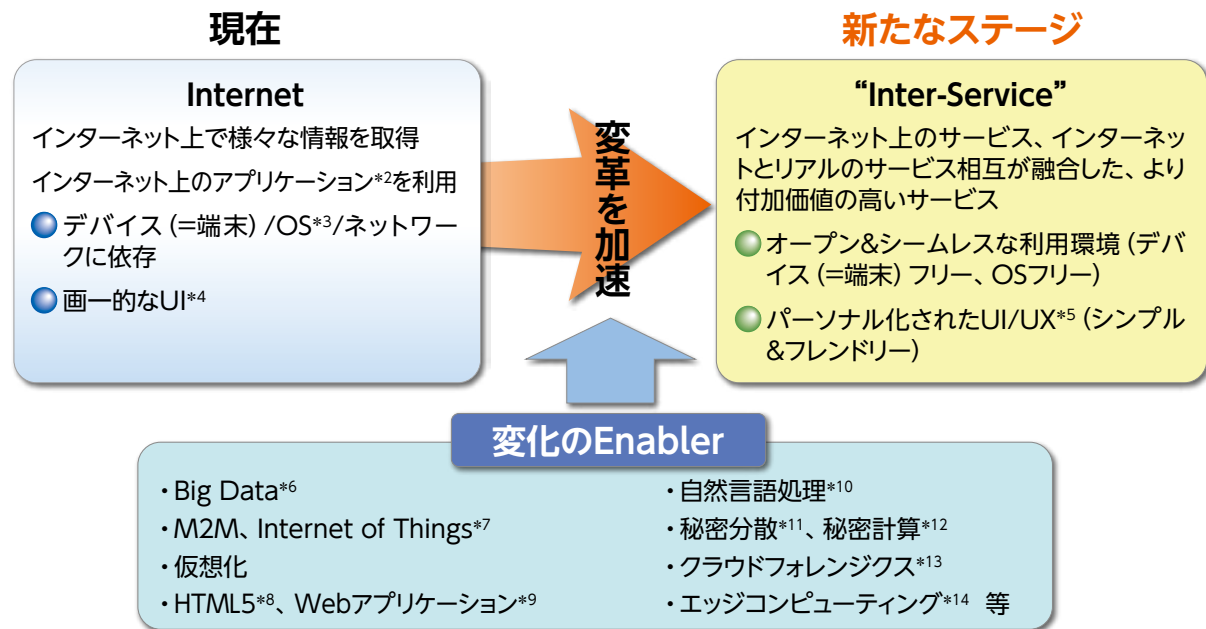
「個人投資家の皆様向けホームページ」はこちら
<http://www.ntt.co.jp/ir/>

NTT IR 検索

●新たなステージ

昨今、企業や個人の活動は、ますますグローバル化とクラウド化が進展しています。こうした動きは、様々な新しい技術が「変化のEnabler（変化を可能にするもの）」となって、さらに大きな変革へつながり、“Inter-Service”^{*1}の世界である、「新たなステージ」に向かうと考えられます。

NTTグループは、そのような変化のなかで、多彩なサービスをつなぎ、また、お客様のニーズとサービスをつなぐことで、お客様に選ばれ続ける“バリューパートナー”となるべく、自らを変革してまいります。



*1 Inter-Service…インターネット上の様々なサービス同士が融合するとともに、現実のサービスとも融合した、より付加価値の高いサービス(NTTによる造語)。

*2 アプリケーション…パソコンやスマートフォンなどで、ウェブや表計算の事務処理、音楽やゲームなどを動作させるソフトウェア。

*3 OS (Operating System) …コンピュータシステムの基本ソフトウェア。

*4 UI (User Interface) …コンピュータシステムを人間(ユーザ)が利用する際の操作方法や、画面表示などの総称。操作感。

*5 UX (User Experience) …ある製品や、サービスを人間(ユーザ)が利用したときに得られる体験、経験などの総称。

*6 Big Data…SNSや口コミサイトなどへ投稿されるデータや、M2Mで収集されるデータなどを含む、従来の技術では管理や処理が困難とされるほど量が膨大かつ構造が複雑なデータの集まり。

*7 Internet of Things…あらゆるモノがインターネットにつながり、モノ同士、あるいは人とモノをインターネットでつなぐという概念であり、それを可能にする技術の総称。

*8 HTML5…Web記述言語HTMLのバージョン5で、Webアプリケーションを開発できることが大きな特徴。

*9 Webアプリケーション…Webの機能や技術を利用して開発されたソフトウェアで、Web上で利用できる。

*10 自然言語処理…日本語や英語などの、人間が使っている言語をコンピュータに処理させるための技術やソフトウェアの総称。

*11 秘密分散…データを暗号化したうえで複数に分散して管理し、分散化された一部が漏洩しても元の情報を推測できない技術。

*12 秘密計算…データを秘密分散したまま処理し、処理をする側にはデータを一切秘密にしたまま、処理結果のみを得ることができる技術。

*13 クラウドフォレンジクス…クラウド上にあるデータを利用する際の安心・安全を可視化・証明する技術。

*14 エッジコンピューティング…負荷の大きな処理を、クラウド側で高速に処理可能とする技術で、ユーザは端末の性能や種類を問わず様々なサービスが利用可能となる。

●“プロバイダー”から“バリューパートナー”へ

お客様に選ばれ続ける“バリューパートナー”へ

～多彩なサービスをつなぐ、お客様とサービスをつなぐ～

- 法人のお客様のビジネスモデル変革をサポート (B2B2C^{*1}ビジネスモデル)
- 個人のお客様の豊かなライフスタイルをサポート
- 成長を目指し自らも変革

お客様のニーズに合わせて (Suitable)

- ーインフラ/プラットフォーム^{*2}/アプリケーションを自在に組合せ
- ーお客様に代わって最適なサービスのマッチングを支援

より簡単・便利に (Simple)

- ー簡単に使えるUI/UX
- ーお客様が求めるものを使いやすい料金で

より安心・安全に (Secure)

- ーどんな脅威に対しても先端の技術とオペレーションでお客様をガード

NTTグループが
果たすべき役割



*1 B2B2C (Business to Business to Consumer) …ある企業が個人消費者向けに行うビジネス (B2C) をサポートするビジネスおよびビジネスモデルのこと。

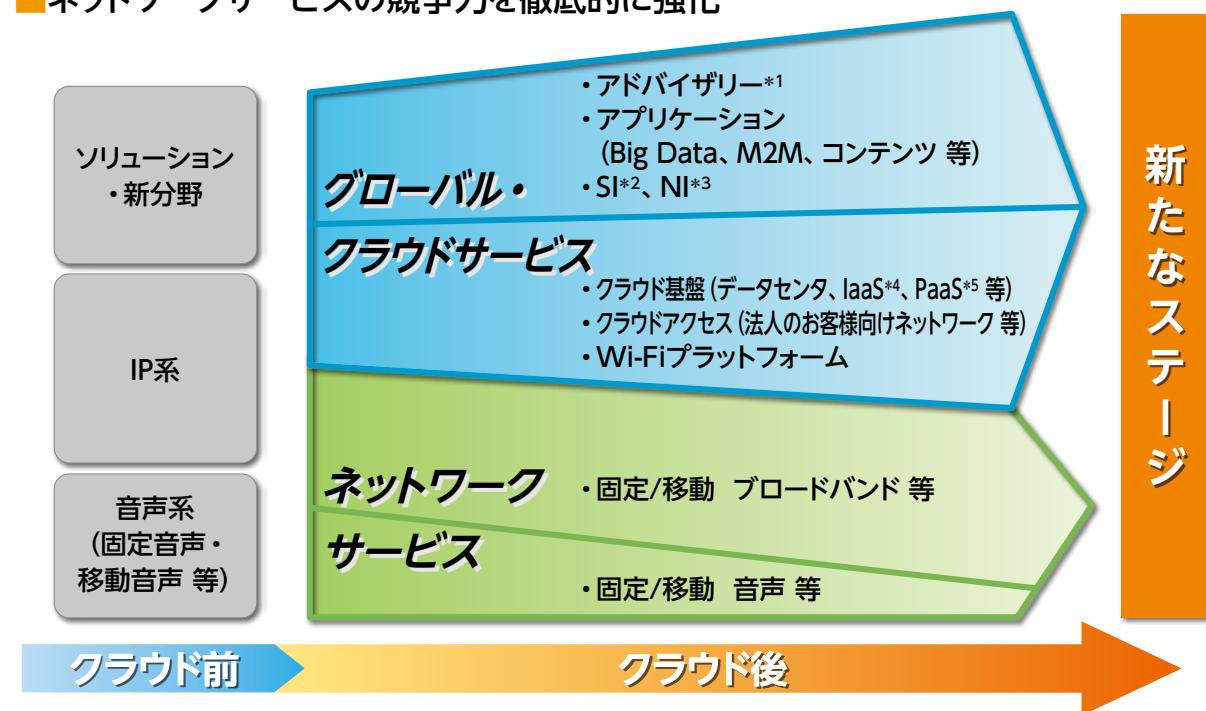
*2 プラットフォーム…様々なアプリケーションを開発・実行する土台のことで、共通のプラットフォームを利用するとサービスを早く、簡単に提供しやすくなる。

●収益構造の変化

NTTグループは、「新たなステージ」に向け、

- ①「グローバル・クラウドサービス」を今後の事業の基軸とするとともに、
 - ②ネットワークサービスの競争力を徹底的に強化し、
- 次項に掲げた目標の達成に取り組んでまいります。

- 「グローバル・クラウドサービス」を事業の基軸に
- ネットワークサービスの競争力を徹底的に強化



*1 アドバイザリー…専門的な知識や技術を活用して、お客様に助言や提案を行い、課題を解決するサービス。

*2 SI (System Integration) …システムの構築・運用。

*3 NI (Network Integration) …ネットワークの構築・運用。

*4 IaaS (Infrastructure as a Service) …サーバなどのハードウェアや、OSを購入することなく、インターネット上のサービスとして必要なときに必要なだけを利用可能にするサービス形態。

*5 PaaS (Platform as a Service) …IaaSに加えて、プラットフォームも含めて、インターネット上のサービスとして必要なときに必要なだけを利用可能にするサービス形態。

●中期財務目標

利益回復と成長への道筋

- I 「グローバル・クラウドサービス」を事業の基軸に
- II ネットワークサービスの競争力を徹底的に強化

キャッシュのコントロールと有効活用

- 設備投資の大幅な効率化
- クラウド分野を中心としたM&Aの展開
- 株主還元の中期的な充実

2017年3月期までに

- ◆ 海外売上高 200億USドル
- ◆ 法人売上高海外比率 50%以上

2015年3月期までに

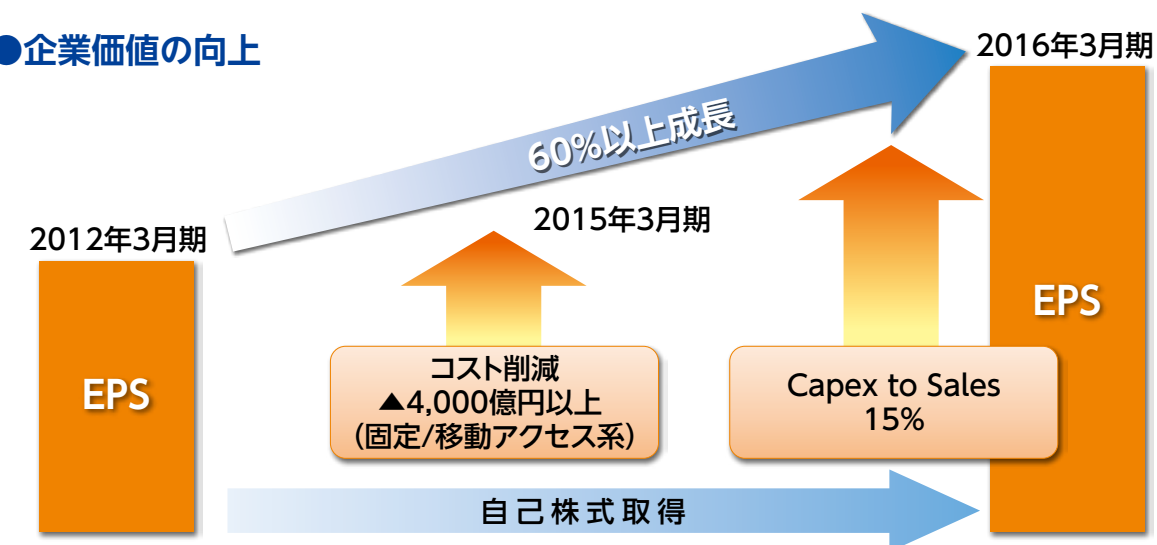
- ◆ 固定/移動アクセス系のコスト削減 (2012年3月期比) ▲4,000億円以上

2016年3月期までに

- ◆ Capex to Sales 15%

EPS (1株当たり当期純利益) を2016年3月期までに60%以上成長 (2012年3月期比)

●企業価値の向上



TOPICS

NTTは米国に本拠地を置くCenterstance, Inc. の全株式を買収することで2012年9月18日に合意し、NTT Centerstance, Inc. (以下、Centerstance社)として11月から子会社化しました。

会社概要

Centerstance社は、米国における数少ないSalesforce.com社*1プラチナパートナーの1社となっており、Salesforce.com社が保有するプラットフォームを活用しながら、お客様の業務プロセスを分析、既存のアプリケーションやインフラのクラウド移行を提供するなど、コンサルティング企業として急成長を遂げています。Centerstance社はこれまで、中小規模の企業からフォーチュン・グローバル500*2に含まれている企業まで、様々な規模のお客様の2,000件以上のプロジェクトに携わってきました。

買収の背景

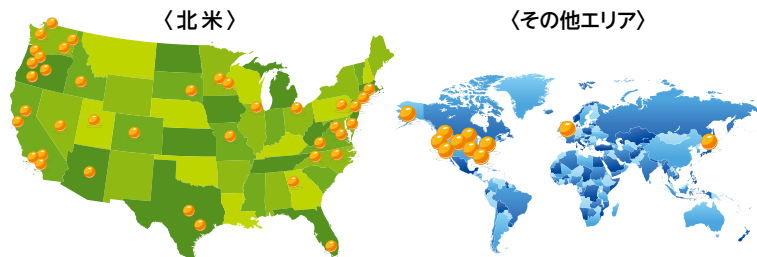
NTTはグローバル事業の拡大を図っており、海外で1万社を超える顧客基盤を有し、2012年3月期の海外売上高は116億米ドルとなり、69ヶ国で45,000人以上の従業員が就業しています。グローバルクラウド戦略を掲げ、様々なクラウドサービスやデリバリーモデルを含んだソリューションをお客様に提供するため、グループ会社のNTTデータ、Dimension Data、NTTコミュニケーションズを通じて、クラウドに関連する革新的技術を獲得してきました。Centerstance社とNTTグループ各社が緊密に連携することにより、「アプリケーション」から「IaaS、データセンタ、ネットワーク」、「デバイス (=端末)」まで、そしてその構築からオペレーションまで、お客様の情報通信環境を「ワンストップマネジメント」でご提供することができます。



Centerstance社のロゴ



Centerstance社のエリアカバレッジ



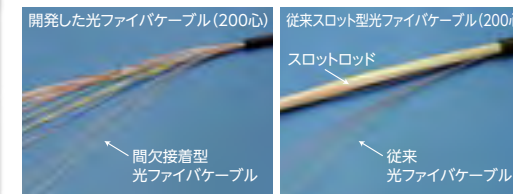
*1 Salesforce.com社…法人のお客様向けクラウドコンピューティングサービスのリーディングカンパニー。

*2 フォーチュン・グローバル500…米国の経済誌フォーチュンによる世界企業ランキング。

NTTグループの主なニュースをご紹介します。

7 July

- ➔ 世界最高密度の多心光ファイバケーブルを開発～究極に細く、軽量化した光ファイバケーブルで光通信網の構築を効率化～(NTT)



- ➔ 環境センサーネットワークによる「ドコモ環境ライブ」を提供開始～UVケアや熱中症・節電対策のアプリケーションを提供開始～(NTTドコモ)

スマートフォン版:
<http://docomo-live.jp/sp/>
パソコン版:
<http://docomo-live.jp/>



8 August

- ➔ アジア主要都市を高信頼・低遅延でつなぐ光海底ケーブル「Asia Submarine-cable Express」の運用開始 (NTTコミュニケーションズ)



- ➔ 「ひかりTVどこでも」がパイオニアのカロツェリア スマートフォンリンク「アプリユニット」に対応開始 (NTTぷらら)

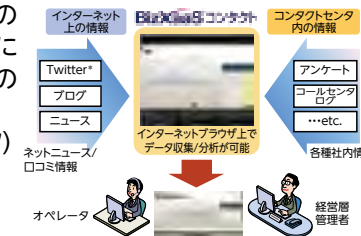


9 September

- ➔ 「フレッツ 光ライト マンションタイプ」および「フレッツ光 マンションタイプ (光配線方式)」をより使いやすい料金で提供 (NTT東日本/NTT西日本)



- ➔ クラウド型コンタクトセンタ向け業務サービス「BizXaaSコンタクト」に、ソーシャルメディアからのお客様の声を最大限に生かすための機能を追加 (NTTデータ)



*Twitter…Twitter, Inc.の登録商標。



表紙の絵の国は「アメリカ合衆国」です。



株式インフォメーション

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

【証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様】

お取引先の証券会社へお問い合わせください。

【特別口座に当社株式が記録されている株主様】

当社特別口座管理機関の三井住友信託銀行へお問い合わせください。

◎住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことができますのでご了承ください。

◎未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせは

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

NTT株主様専用電話 : ☎0120-584-400

代表電話 : ☎0120-782-031

株主・投資家の皆様向けホームページ
<http://www.ntt.co.jp/ir/>

■NTT東日本・NTT西日本

「電話サービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

☎ **116** (局番なし)

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

☎ **0120-116-116**

NTT東日本: 午前9時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

NTT西日本: 午前9時～午後9時 年中無休(ただし年末年始を除く)

■NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

☎ **0120-506-506** コール・コール

午前10時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

■NTTドコモ

総合お問い合わせ先/各種ご注文受付
(ドコモ インフォメーションセンタ)

ドコモの携帯電話からの場合

☎ **151** (局番なし)

(一般電話などからはご利用になれません。)

一般電話などからの場合

☎ **0120-800-000**

(午前9時～午後8時 年中無休)

日本電信電話株式会社



この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。